

## 令和8年度第1回都市経営会議 令和8年(2026年)4月13日(月)開催

### ■出席者

森市長、藤島副市長、吉田副市長、赤井教育長、藤本上下水道事業管理者、山内技監、羽田部長、柳田部長、古南部長、中出部長、江崎部長、数田危機管理監、中村部長、総谷部長、政処部長、鈴木部長、岡田部長、高田部長、藤川部長、藤田部長、下野上下水道局長、甲斐病院副事業管理者、福永病院副事業管理者

### ■議事概要

#### I 宝塚市土地開発公社経営健全化計画(第六次)の策定について

【提 案】 企画経営部

【結 果】 条件付き承認(企画経営部と都市安全部で案文を修正する)

【経 過】

- ・令和7年度第26回都市経営会議(3/23開催)において、同案件を提案したところ、計画(案)6ページ第9の3項目に「代替用地の取得については、同時契約、三者契約とすることを原則とする。」との記載について意見があった。
- ・この結果、三者契約が困難である実情から、継続審議(文言を追加すること)となり、今回改めて提案があった。

【質疑等】

- ・案文の「担当部が責任をもって行う」という表現は厳しすぎると感じる。「積極的に関わる」といった表現への変更や、「事業完了までに」という記述の削除を検討できないか。責任の所在自体は理解しているし、完了後も土地が残れば担当部が関わるのは当然だが、表現には配慮が必要である。  
⇒表現については再考の余地がある。現案は過去の依頼文を基に作成したものである。
- ・「事業完了までに」を削除し、「事業を所管する部が責任を持って関わる」とするのはどうか。
- ・公式文書に具体的な部名を記載すべきなのか。市全体の問題であり、組織再編時の対応も難しくなる。
- ・土地開発公社は市の依頼を受けて購入を代行しているのであり、自らの判断で買っているものではない。市の依頼に基づく以上、公社の経営健全化のためにも処分まで市が責任を持つべきであると思う。
- ・進捗管理の頻度や公社から担当部への確認状況はどのような状況か。確認作業が長期化しているのであれば、現状に即して表現を和らげるべきではないかと思う。  
⇒関係部と調整し、案文を修正する。

## 2 第2次宝塚市教育大綱について

【提 案】 企画経営部

【結 果】 承認

【質疑等】 なし

## 3 第4次宝塚市環境基本計画に係るパブリック・コメントの実施について

【提 案】 環境部

【結 果】 条件付き承認（意見のあった内容を担当部で修正する）

【質疑等】

- ・宝塚市環境審議会では、当該計画が絵に描いた餅にならないよう取り組んでいただきたいといった意見があった。策定後は、庁内連携しながら取組を進めて欲しい。
- ・意見募集のチラシ（添付資料1）の「素案ができました」といった表現は、「計画案ができました」に変更してはどうか。  
⇒修正する。計画には庁内連携が必要な取組もあるため、各部ご協力をお願いしたい。

## 4 第2次生物多様性たからづか戦略に係るパブリック・コメントの実施について

【提 案】 環境部

【結 果】 承認

【質疑等】 なし